

2024年12月2日

お客様各位

京都電子工業株式会社

屈折計・屈折標準液の JCSS 校正について

拝啓、時下ますますご清栄の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社は密度・屈折率に関する JCSS 校正事業者として登録、認定されており、JCSS 校正サービスを提供しています。

しかし、先日、独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）、ならびに国立研究開発法人 産業技術総合研究所による定期審査が行われた際、屈折率の測定システムに不備があるとの指摘がありました。指摘内容は以下の通りです。

「屈折率の基準としている「光干渉法屈折率測定システム」が故障している為、代替の基準として、外部の国際 MRA 対応認定事業者が提供する屈折率標準液を基準に用いているが、NITE に提出しているトレーサビリティ体系及び不確かさに齟齬がある

従いまして、当面は JCSS マークが表示された、屈折計の校正および屈折標準液のご提供が出来ない状況となっています。

また、既納品は 2024 年 3 月以降に校正を行った屈折標準液で、光干渉法屈折率測定システムの代わりに、外部の国際 MRA 対応認定事業者が提供する屈折率標準液を基準に用いる方法で、登録とは異なる国家基準で校正した標準液となりますので、成績書への JCSS マークの表示が違反となる為、トレーサビリティ体系図を修正し、JCSS マークを外した標準液の成績書を送付させていただきますので、JCSS マークの付いた成績書は破棄をお願いします。

光干渉法により値付けされた屈折率標準液と、外部提供の標準液により値付けされた屈折標準液の精度の差は、 10^{-5} の桁に影響する程度であり、実用的には問題ない範囲と考えております。

なお、新規にご用命頂きます屈折標準液につきましても、上記理由により JCSS マークを外した成績書となります。

光干渉法屈折率測定システムにつきましては、鋭意復旧に努めておりますが、年内いっぱいかかる見込みです。しばらくの間は、JCSS マークを外した標準液のご提供となり、屈折計に対す JCSS 校正業務は一時休止とさせていただきます。

お客様にはご迷惑とご不便をおかけしますが、何卒、ご理解とご了承のほどよろしくお願いいたします。

敬 具

【記】

対象製品：2024 年 3 月 1 日以降に校正行つたすべての屈折率標準液、その標準液を用いた屈折計の JCSS 校正。

光干渉法屈折率測定システム復旧予定：2025 年 1 月下旬

【屈折率の JCSS 校正サービスに関するお問い合わせ窓口】



<https://forms.office.com/r/tgaWTanxZr>

以 上